

この度は、弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用にあたっては、取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
※施工後は本書をお施主様へお渡しください。

品番:XT1-S100AS
品番:XT1-W100UL

⚠ 安全上のご注意 (必ずお守りください)

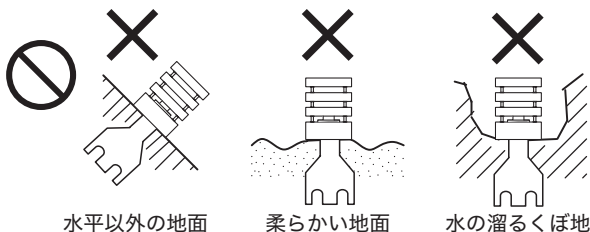
⚠ 警告

- この器具は、低電圧仕様の屋外専用ガーデンライトです。
下記の使用環境・条件下では使用しないでください。

○一般通常環境以外の場所○浴室○サウナ風呂
○水がたまる場所や湿気の多い所○海岸隣接地
火災や感電・落下・器具破損の原因となります。

- 器具本体表示または本説明書に従って施工してください。
施工に不備があると、火災・感電・落下・転倒の原因となります。

- この器具は地面埋込専用器具です。指定場所以外には取り付け
けないで下さい。火災・転倒の原因となります。



- 電源接続の際は取付・取扱説明書に従い確実に行ってください。
接続が不十分な場合、接触不良により火災の原因となります。

- この器具には+と-の極性があります。極性を間違えて接続
すると器具の破損・火災の原因となります。

- この器具は耐塩仕様ではありません。塩害地域で使います
と早期に錆・腐食などが生じ、火災・感電・落下の原因となります。

- 故障の原因となりますので、ケーブルはそのままコンクリート
へ埋めず、電線保護管を使用した配管施工を行ってください。

- ケガの原因となりますので、電源コードが足などに引っ掛かり
そうな場所へは配線しないでください。

- 点灯には専用トランスを使用し、その接続容量を超えないよう
に確実に接続してください。
接続容量を超えて使用したり、接続に不備があると火災の原因
となります。

- 器具を布や紙等の可燃物で覆わないで下さい。
火災・感電・転倒の原因となります。

- コードやケーブルが損傷し、火災や感電の原因となりますので
電源コードやケーブルを無理に引っ張ったり重いものを載せた
りしないでください。

- 感電・火災・故障の原因となりますので、部品交換や改造をし
ないでください。

- 電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている定格電
圧でご使用下さい。過電圧を加えるとLED寿命が短くなるほか、
部品が過熱し火災・感電の原因となります。

- 火災や感電の原因となる恐れがありますので、異音・異臭等の
異常を感じた場合は、トランスの差し込みプラグを抜き、工事
店にご相談ください。

⚠ 注意

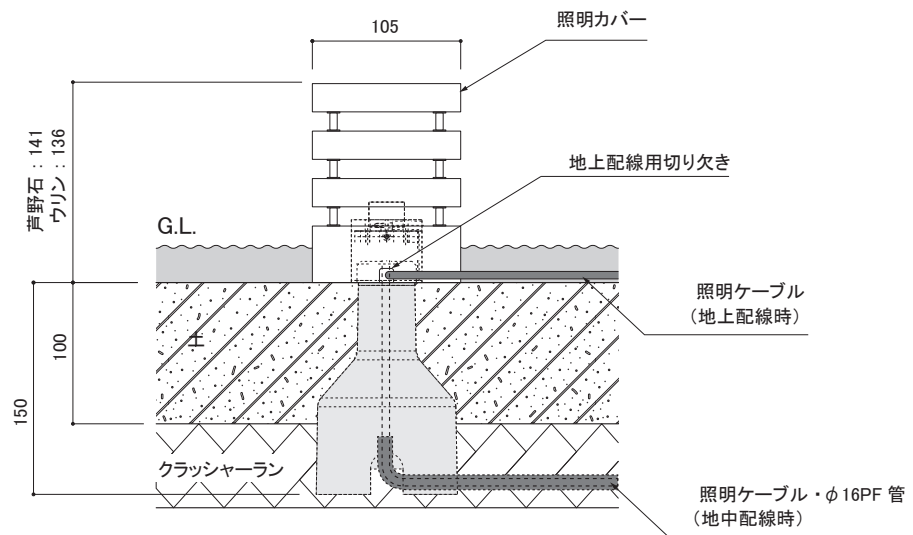
- 製品には寿命があります。外観が正常でも内部の劣化は進行し
ています。進行度合いは使用条件・設置場所の環境で大きく異
なりますので定期的に商品の外観・動作のご確認をお願い致し
ます。

点検せずに使用するとまれに火災や感電、落下などに至る場合
があります。

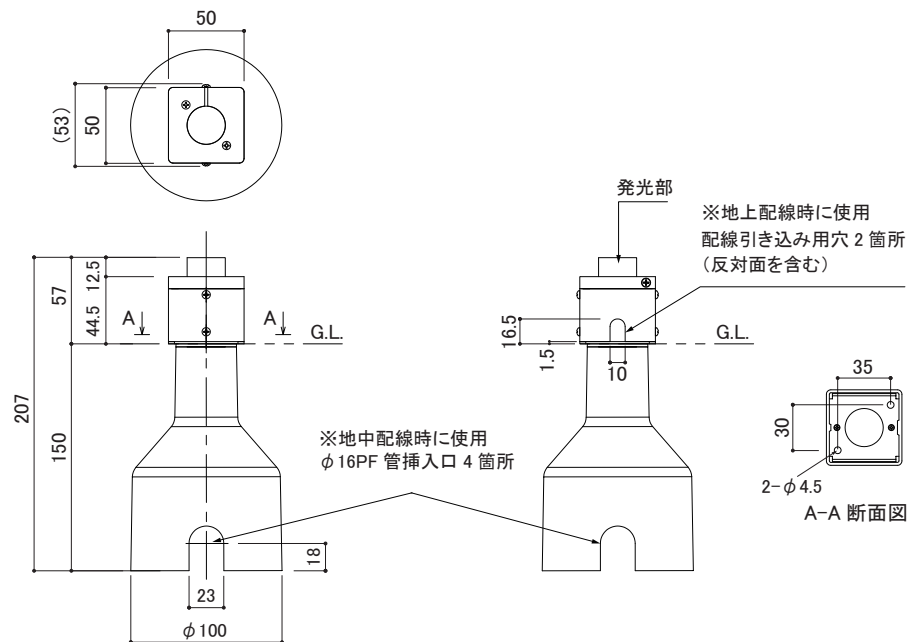
- コードやケーブルが破損し、火災や感電の原因となりますので、
電源コードやケーブルが痛んだら使用をやめ、業者に修理を依
頼してください。

- 車両など荷重がかかる場所では使用しないでください。

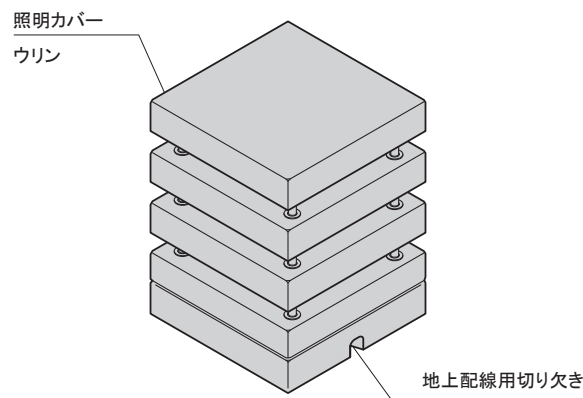
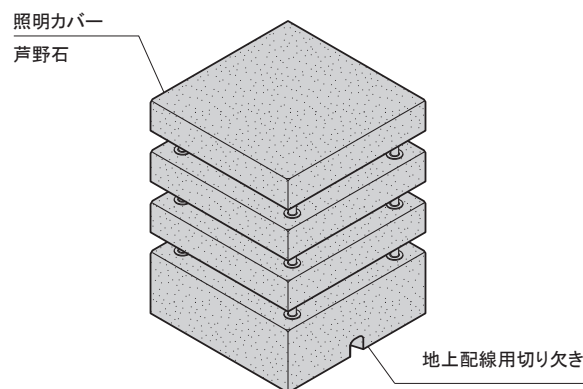
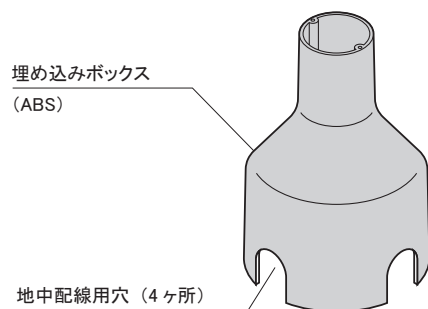
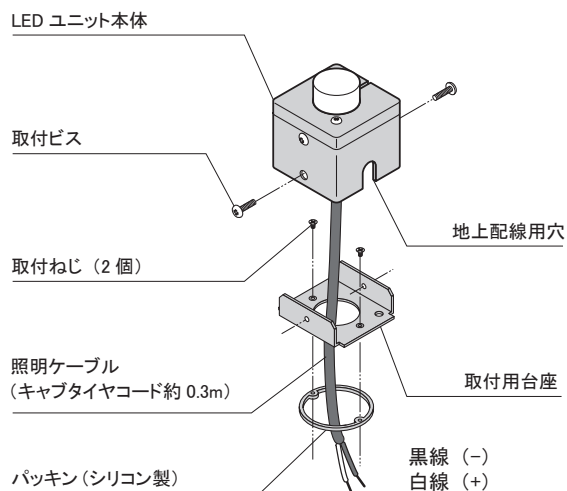
基本寸法図



付属 LED ユニット



各部の名称



※アンカー施工時は埋め込みボックスは使用せず、地面に下穴加工を施し、取付台座を付属のカーンプラグと木ねじで固定し、LED ユニートを固定してください。

1 取付に関する注意事項

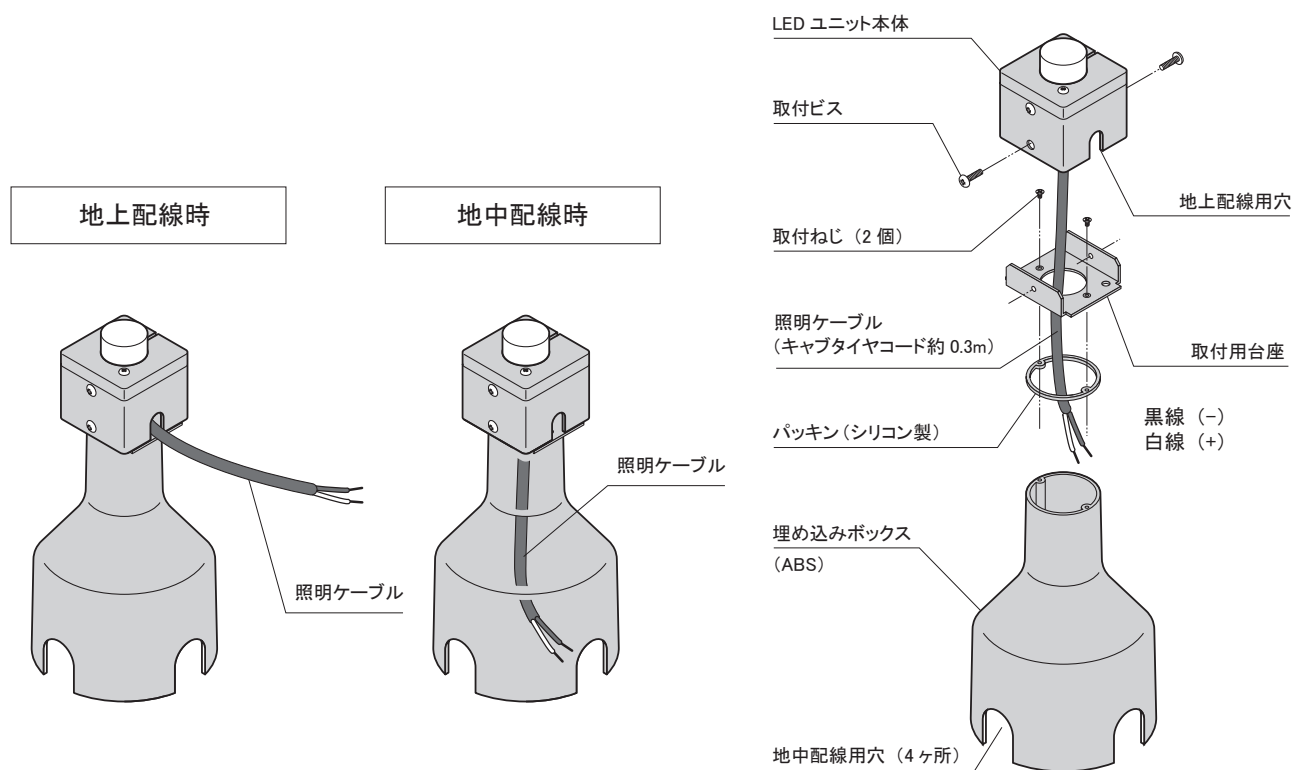
- 本製品は 12V 仕様です。製品から出ているコード終端を直接 100V に直結しないようにご注意ください。
- 本製品は水はけのよい所に設置してください。
- 配線の際はケーブルを電線保護管で保護し、ケーブルがモルタルやコンクリートに触れないようにしてください。
- 本製品のはトランス、ケーブル、電線保護管、接続端子等は付属しておりません。
現場の状況にあわせ別途ご用意ください。

2 器具の取付方法

- 本製品は 12V 仕様です。100V への直結は絶対にしないでください。この器具には + と - の極性があります。必ず極性を確認してから結線作業を行ってください。白線 (+)、黒線 (-)

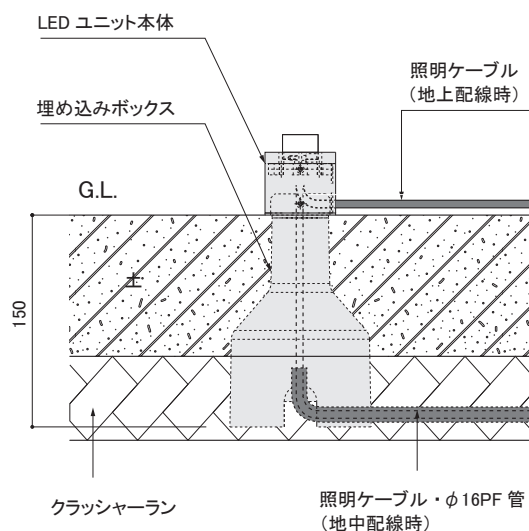
1. 〈LED ユニット本体の取り外し及び、埋め込みボックスへ取付〉

- 取付ビス、取付ねじ（2 個）を緩めて、埋め込みボックスから LED ユニット本体を取り外してください。
- 図を参考に地上配線、地中配線の現場状況にあわせて LED コード位置を調整し、LED ユニット本体を埋め込みボックスに取り付けてください。



2. 〈LED ユニット本体、埋め込みボックスを設置する〉

- 埋め込みボックスを振動や荷重（車を含む）のかからない場所に設置してください。
※器具破損や浸水による感電、火災の原因になります。
※埋め込みボックス内部に水が溜まらないようにしてください。
- 右図を参考にケーブルを接続してください。
※電源接続部分の防水と絶縁は確実に行ってください。
不完全な場合、感電、火災の原因になります。
※閉端接続子で圧着し、自己融着テープで防水処理をしてください。



3 ケーブルを延長する

- 照明を接続するケーブルは [MY1-1894 : 12V 延長ケーブル] をご使用ください。
- 結線時は推奨電設資材を使用する、または市販の閉端接続子を使用し、自己融着テープを巻いて、十分な絶縁・防水処理をしてください。

閉端接続子の場合



※推奨電設資材や閉端接続子、自己融着テープは別途ご購入ください。

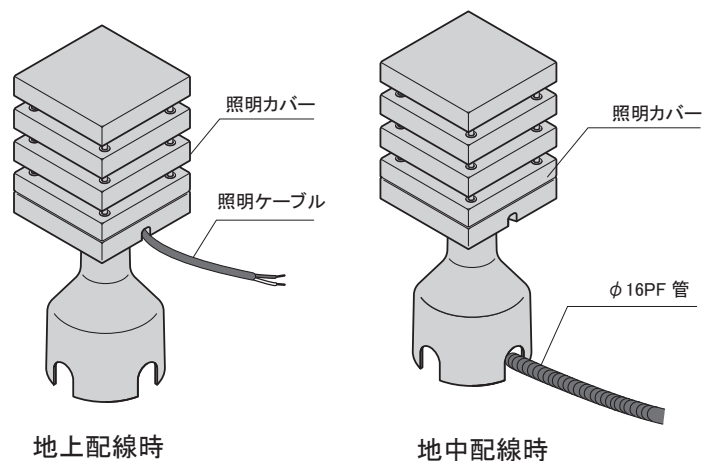
※トランスに直接ケーブルを接続する場合は、トランスに同梱している取付・取扱説明書に従って工事を行ってください。

※接続部分を土やコンクリートで埋めないでください。結線部分が錆びたり浸水すると、不点灯を引き起こしますので、推奨電設資材や閉端接続子をご使用ください。

4 照明カバーを設置する

- LED ユニットに照明カバーを被せます。
状況によって照明カバー下部に砂利や砂などを被せてください。

※LED の交換ができなくなるので、照明カバーはコンクリート等で固めて設置しないでください。



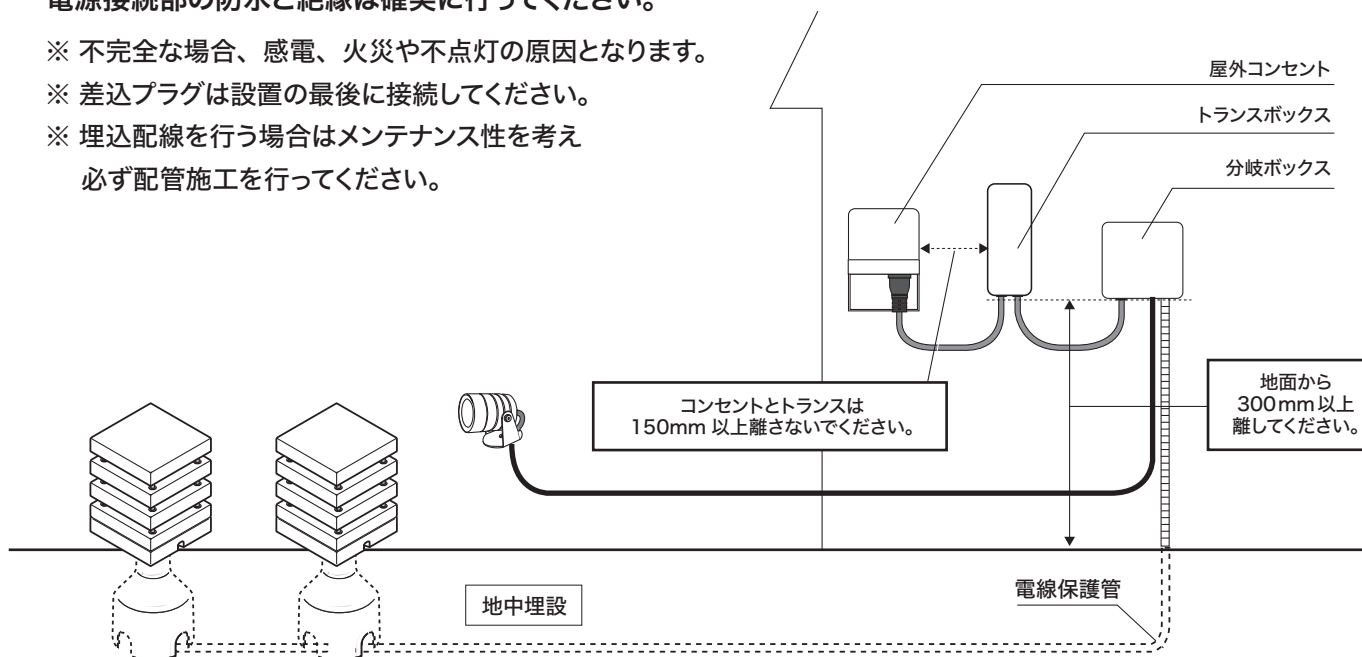
5 使用前に確認する

- 取り付け状態、点灯状態を確認してください。
- 取り付けが不完全の場合、防水性能が低下し、落下・絶縁不良の原因となります。

● 配線図〈施工イメージ〉

電源接続部の防水と絶縁は確実に行ってください。

- ※ 不完全な場合、感電、火災や不点灯の原因となります。
- ※ 差込プラグは設置の最後に接続してください。
- ※ 埋込配線を行う場合はメンテナンス性を考え必ず配管施工を行ってください。



埋設深さ 150mm 以上※埋め込みボックス含む（車両その他の重量物の圧力を受ける恐れがない場所に限りです）

お手入れ、ご使用について(LED器具)

⚠️ お手入れの際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因となります。

- 安全にご使用いただくため、定期的（6 ヶ月に 1 回程度）にお掃除、点検してください。
- 汚れがひどい場合は、石鹸水に浸した布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
丸洗いはしないでください。
- シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたりしないでください。変質・変色・破損の原因となります。
- 器具全体を丸洗いしないでください。火災・感電の原因となります。
- 本製品は電気製品であり、永久に点灯し続ける製品ではありません。
- LED の色味にバラツキがあるため、同品番の製品でも発光色・明るさが異なる場合があります。
- LED が点灯しない場合は電源を切り、販売店、工事店にご相談ください。

保管・破棄

保管：保管の際は下記の要領で行ってください。

- 購入時と同じ状態で梱包してください。
- 梱包ケースの上に物を置かないでください。梱包ケースに局部的な外圧をかけないでください。
- 常温（20±15℃）、常湿（65±20%）の場所に保管してください。

破棄：所轄の地方自治体が定めた方法に基づき、適正に処理してください。

なお、破棄の際にはケガをしないように手袋等を使用してください。

お手入れ、ご使用について(照明カバー：ウリン)

 お手入れの際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因となります。

- 時間の経過により、細かいヒビやささくれが生じたり、色褪せや退色がございます。予めご了承ください。
- 木材保護塗料を塗布し、定期的にメンテナンスをすることで、経年変化を緩やかにご楽しみいただけます。
- 普段の汚れは乾拭きしていただき、特に汚れた場合は、固く絞った雑巾で水拭きします。
水分を残さないよう乾拭きしてください。
- ささくれが生じた場合には、ケガをする恐れがありますので、定期的にチェックし、
ささくれが生じた時はヤスリやサンドペーパーで除去し、木材保護塗料を塗布してください。

お手入れ、ご使用について(照明カバー：芦野石)

 お手入れの際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因となります。

- 天然石につき色調・紋様・寸法(縦・横・厚み)にバラつきがありますので予めご了承ください。
- 石質上、時間の経過や施工する場所、環境によって経年変化で変色する場合がございます。
酸性洗剤は使用しないでください。
- 拭き掃除を行う場合は固く絞った雑巾や柔らかいブラシで汚れを落としてください。